～～*～

先日は、原発事故避難住民らによる（国や東電に損害賠償を求めた）３件の集団訴訟で、最高裁が東電の上告を棄却して初めて敗訴が確定し、賠償総額約 14 億円を約 3680 人の原告へ対して支払うよう命じられました。

最高裁は引き続き、国の賠償責任を検討するため、４月に住民側と国側の意見を聞く弁論を開くことを決定し、今夏にも統一判断を示す見通しとなっています。

福島第一原発から約 20㎞ 以内は現在も立入禁止区域とされ、原発の廃炉は、水素爆発の影響で通常の廃炉とは難しさの次元が異なると言われます。

例えば、前処理として行われる使用済み核燃料の取り出しですら、放置されたままのガレキの撤去、核燃料を取り出したあとに保管する建屋の建築など、難問が山積しています。

もっとも危険な「燃料デブリ（溶け落ちた燃料等）」もまだ取り出せず、毎日大量の汚染水が新たに発生しています。

２．教訓を生かす

震災から 11 年が経過し、今の小中学生は（中３でも当時３～４歳ですので）そのほとんどが「詳しくは知らない世代」と言って良いでしょう。

よく「災害は忘れた頃にやってくる」と言われます。

近い将来、南海トラフ巨大地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震、中部圏・近畿圏直下地震などの発生が懸念されています。

これらの巨大災害に対して、少しでも防災・減災するためには、日頃からの備えが欠かせません。

そのためには、積極的に「教訓を生かす」という心構えが必要となります。

例えば、南海トラフ巨大地震等による津波被害が想定される静岡県では、平成 25 年度時点の想定死者数と比べ、令和４年度末までに８割減とする目標を掲げて、さまざまな対策に取り組んでいます。

ハード面では、すでに防潮堤や津波避難タワーの建設、避難路整備などをほぼ順調に達成し、目標達成に向けた最終年となる今年は、住民の危機意識に訴える「ソフト対策」＝「わたしの避難計画」に注力するとしています。

静岡県の場合、平成 25 年度の時点で「何の対策も講じなければ」南海トラフ巨大地震で 10 万５千人が死亡（うち９万６千人が津波による死者）すると予測されました。

この想定死者数を来年３月までに、８割減の２万人に引き下げることを目標に掲げて、さまざまな取組みを推進してきました。

津波避難タワーは、11 年前の７基から令和３年度には 117 基まで増え、津波避難ビルの指定

は508箇所から1352箇所に増えました。

浜松市の遠州灘海岸には、総延長約17.5kmの防潮堤が完成し、袋井市や吉田町でも防潮堤整備工事を進めるなど、こうした対策によって想定死者数の約７割減を達成したということです。

これらの取組みに加え、住民が避難できなければ実際の死者を減らすことはできないと、津波浸水想定区域に住む一人ひとりに作ってもらう「わたしの避難計画」に注力しています。

津波襲来が想定される沿岸21市町の約27万人に「わたしの避難計画」を配布し、居住地には地震から何分後に、どのくらいの津波が襲来するのか、避難場所はどこか、実際の情報収集手段や連絡方法はどうするのかといった「避難計画」の作成を促しています。

被害想定を地図に落とし込んだハザードマップを確認し、事前に計画を立ててもらうことで、発生時の迅速な避難を促す取組みです。

「わたしの避難計画」の作成方法を指導するワークショップを自治体職員らが開催するほか、住民が自力で避難計画を作成できる専門のWebサイトも立ち上げるとしています。

このような教訓・情報が有効活用され、少しでも多くの備えをしておくことが、より大きな防災や減災につながるよう願うばかりです。

by Hirono

～～*～

動は、四国中部周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2020年夏頃から九州南部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、最近は停滞しているように見えます。この変動は、日向灘南部のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

石川県能登地方では、2020年12月頃から「能都」で南南西方向の変動が、「珠洲」で隆起が見られるなど、この地域の地震活動とほぼ同期して地殻変動が観測されています。

硫黄島では、「硫黄島１」及び「Ｍ硫黄島Ａ」で隆起が、「硫黄島２」で南向きの変動が継続しています。

国土地理院 22.3.8　令和4年2月の地殻変動
https://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2022-goudou0308.html

～～*～

SignalNowシリーズの開発・配信事業を行っています。
緊急地震速報　地震動の予報業務の許可事業者　許可第198号
http://www.estrat.co.jp/

・～・・～・～・～・～・～・～・～・編　集・～・～・～・～・～～・～・～・～・

株式会社小林洋行コミュニケーションズ　SignalNowデスク
〒103-0014　東京都中央区日本橋蛎殻町1-15-7
https://kobayashiyoko-com.jp/sn/

━━ Copyright 2022 Strategy Corporation.